

⑥ 気候変動 緩和と適応

地球温暖化対策には、その原因物質である温室効果ガス排出量を削減する（または植林などによって吸収量を増加させる）「緩和」と、気候変化に対して自然生態系や社会・経済システムを調整することにより気候変動の悪影響を軽減する（または気候変動の好影響を増長させる）「適応」の二本柱があります。



気候変動 影響への適応計画（主要な7分野）

農林水産業	水環境 水資源	自然生態系	自然災害 沿岸域	健康	産業 経済活動	国民生活 都市生活

出典 ● 気候変動適応情報プラットフォーム

■ 家庭でできる気候変動適応策

適応策には、品種改良や治山治水のように、長期に莫大な費用を要するものも多くあります。一方、家庭でも比較的簡単にできるものもあります。みなさんも身近でできる適応策を探して多くの方に広めてください。

予想される危険		適応策
自然災害	強風・突風	窓をテープや飛散防止フィルムで補強
		雨戸の後付け
		地下シェルターなど避難場所の確保
		火災保険に自然災害補償を付ける
	豪雨 (長・短時間)	ハザードマップの確認
		避難経路の作成
		タイムラインの作成
健康	熱中症	避難訓練（日中と夜間）
		水路・マンホール等危険個所の把握
		火災保険に自然災害補償を付ける
		日傘の使用
		通風機能付きスーツ
クーラーの適時使用		
窓/壁/屋根の遮熱断熱化		
グリーンカーテンに適した植物の選定		



【文責】 山岸 恒夫